目　次

本書の使い方… 8

第1章　第二言語習得（SLA）研究とは…… 12
1. 第二言語（L2）とは…… 12
2. SLA 研究とは…… 13
3. SLA 研究の基本的な概念…… 15
4. 本書の立場…… 20
コラム 01　ことばのコーパスは宝の山なれど…… 22

第2章　二つの言語習得観と言語転移のとらえ方…… 23
1. L1 習得と L2 習得…… 23
2. 生得主義と創発主義…… 27
3. 生得主義と普遍文法…… 28
4. 創発主義と用法基盤モデル…… 30
5. 言語転移の変遷…… 32
6. まとめ…… 36
コラム 02　いろいろなことばの壁を越えて…… 38

第3章　「エラー」のとらえ方の変遷…… 39
1. 間違いは避けるべきものなのか…… 39
2. エラーは徐々に減るのか…… 41
3. 誤用分析 ―エラーから考えてみよう…… 43
4. 中間言語研究 ―L2 使用者独自の言語体系…… 47
5. 中間言語研究を超えて ―エラーから NTL へ…… 52
6. まとめ…… 54
コラム 03　たった一文字の違いでグローバル !?…… 55

第4章　SLA の認知プロセス…… 56
1. L2 習得のプロセス…… 56
2. インプットの必要性…… 58
3. インターアクションの有用性…… 60
4. アウトプットの重要性…… 62
5. まとめ…… 64
コラム 04　言語の４技能＋？…… 66

第5章　個人差が SLA に与える影響 …… 67
1. L2 習得における個人差 …… 67
2. 言語適性 …… 68
3. 動機づけ …… 70
4. 動機づけの減退と動機づけストラテジー …… 72
5. 学習ストラテジーと自己調整学習 …… 73
6. まとめ …… 76
コラム 05　もっと深めよう：「学習者×教師」の個人差 …… 78

第6章　SLA の環境と特徴 …… 79
1. 自然環境と教室環境におけるインプットとアウトプット …… 79
2. 留学という環境 …… 84
3. 教室環境における文法指導の効果 …… 86
4. 教師の役割とこれからの学習環境 …… 88
5. まとめ …… 91
コラム 06　留学したらペラペラになる？ …… 92

第7章　社会とつながる SLA 研究 …… 93
1. 多言語・多文化化する日本と言語サービス …… 93
2. 日本語習得の落とし穴 …… 97
3. L1 日本語使用者と L2 日本語使用者という関係性 …… 100
4. まとめ …… 103
コラム 07　多言語表示の落とし穴 …… 105

第8章　CLD 児の言語習得 …… 106
1. 文化的言語的に多様な子ども（CLD 児）とは …… 106
2. CLD 児の L2 習得と年齢との関係 …… 107
3. CLD 児の L2 習得の目的と言語能力のとらえ方 …… 108
4. CLD 児にとっての母語とは …… 110
5. CLD 児の母語と L2 の関係 …… 111
6. まとめ …… 114
コラム 08　二言語「を」評価する？　二言語「で」評価する？ …… 116

第9章　CLD 児への教育と支援 …… 117
1. 日本国内の CLD 児を取り巻く現状と課題 …… 117
2. CLD 児のための国の教育政策 …… 118
3. 学校での CLD 児の受け入れ体制 …… 120
4. 教育・支援につなげるための CLD 児の状況把握 …… 121
5. CLD 児への日本語指導 …… 123
6. まとめ …… 127
コラム 09　パキスタンからやってきたマリアムさん …… 129

第10章 SLA 研究に基づく日本語指導（1） …… 131
ーコミュニケーション能力を育てる
1. コミュニケーション能力とは？ …… 131
2. 外国語の指導法はどう変わってきたか …… 134
3. フォーカス・オン・フォームとは …… 137
4. 習得に効果的な訂正フィードバックとは …… 140
4. まとめ …… 142
コラム 10　文法さえ正しければいい？ …… 144

第11章 SLA 研究に基づく日本語指導（2） …… 145
ー内容と言語のどちらも重視する
1. SLA 研究による理論に支持される指導法 …… 145
2. TBLT とは？ …… 146
3. CLIL とは？ …… 148
4. まとめ …… 151
コラム 11　「あ！　地震！」の前に私たちができること …… 152

第12章 SLA と評価 …… 153
1. なぜ評価するのか …… 153
2. なにを評価するのか …… 155
3. どう評価するのか …… 156
4. L2 使用者による評価 …… 159
5. まとめ …… 162
コラム 12　その「日本語能力」の評価、正しい？ …… 164

第13章 SLA 研究の方法（1）…… 165
—研究のタネを見つけて育てよう
1. 身近な疑問から始めてみよう …… 165
2. 先行研究を調べてみよう …… 167
3. 研究計画の問題点を考えてみよう …… 168
4. 調査計画を立ててみよう …… 172
5. 調査方法の工夫 …… 173
6. まとめ …… 176
コラム 13　大きな象を観察する小人たち …… 179

第14章 SLA 研究の方法（2）…… 180
—研究を実らせよう
1. リサーチ・クエスチョン（RQ）を立ててみよう …… 180
2. 研究方法について考えてみよう …… 181
3. 研究方法のアプローチ …… 187
4. 結果と考察 …… 193
5. 研究の成果をシェアしよう …… 195
6. まとめ …… 196
コラム 14　言語ポートレート …… 198

第15章 SLA 研究の今、そしてこれから …… 199
1. SLA 研究の知見とその応用 …… 199
2. 進化する SLA 研究 …… 200
3. SLA 研究の知見を活かす実践 …… 204
4. 近年の SLA 研究の展開 …… 206
5. 新たな SLA 研究 …… 208
6. これからの SLA 研究 —「言語」・「ことば」についての考え方 …… 209
7. どのように研究するのか —「一般化」か「個別性」か …… 211
8. まとめと一言アドバイス …… 212
コラム 15　L2 習得の「成功」とは …… 214

参考文献・参考 URL …… 216
索引 …… 223　付録 …… 228
著者紹介 …… 230